松花江便り

第二支隊長日野武雄

は如何許り意を骚ふして

下記丸十へ御用命を确電工事指定店の

島朔七六

書記!!!!!

電機商會支店

電氣の店

和

登洋行

20回の第

種機械工事

可

ートル殺電機

力、

電鈴

請

萬能七輪

電氣コタッ

其他常熟器各種多數

でいることはありません のですから凡 のですから凡

日本は近視眼國

その豫防法

各種印刷を製本印刷機械及材料

五細全白 堂盛金

央通) 五〇

(西公園前)

電話二八五三番

即小賣 北原紙店

話している。

9

電話二七九三番 計二七九三番

時間を短かしして、暫く眼を細かいものに眼を接近しなけ

・ミスケー・レンスニン

加も避妊も

思ひのま 冷凍はやめてガスで保存し >

き、榮養信値の減少すること特製すると榮養素の破壊を招

開業紀念として

三月中御優待申ます

關東軍司令部御用達

本店举犬设选通

山本寫眞舘

ワイシャツ ネクタイ

新京三笠町

部 赤

電話三八六九番 行

入荷

中折帽

折帽子

ールを合む

支店四平街

行

石炭酸指定

新泰洋行

電話二二九七番

各種炭販賣

は弊

店の

則です

廉!

堅

牢!

百聞は一見・是非一度御來店を

優

春向新柄服地も

品

滿

に

着

荷

海の外から

文具と紙の

和併紙名製造元代 消便塵壁和}萬高事內和洋 耗所紙紙洋 年級務外式式 品紙各襖名 筝女用交帳帳 理 類類種紙紙 類具品具面簿 庫量斗書簡寫校角尺圖圖 各衡水卷便 **福器引紙箋**類品木木類具

新京で

番文具

0

家屋衛新祭設計

=

トを御指定

枕杉電原

他太木材

木其

丸柱木丸杭製

5

揃ふ一番安 店は 板用定定紙機

8 宮崎

首崎組長春支店 [電2143章]

金牌受領滿鮮唯一 年 | 共二研究ラ重マ時代ニ オタレヌ州窓フリ 構造ノ合理化ト降工技術ノ優秀ハ酢ガノ生命 12 奴奴設備の先ラ以ラ舞和鉄ラ神達成ナシ申付 ッラを

僅かの戦気料で御飯が美味しく炊ける 文化『かまざ』を保熱釜

警察 卸便局 城内**太**馬路大通西角出張所• 中央通 蓬莱町 石四材木店 石团林木店 電話 三八八一番

製林及原木

地服洋 おからだに おからだに おからだに 台物嶄新柄 野 横二丁町 a 洋服 入 荷 店 四八

の無散策の御披祭に

迅 江戸前のおしるこ

せんざり

クーキ各種

みしま P

吳服店 電話二五三五番

⑦

電話二七五三番

吉野町二丁目五 滿蒙毛織百貨店

皆様の御期待に副ふべく 會社最高製 東都から優秀職人數名招聘

• 秋田南會木材縣武新京支店 新原曙叮二丁目二六番地 電話二九六八季

大連支兵[前日

されるこの白野

診療(至年後五時)日職祭日午前中

句話二六〇六谷

哲 游 妖 科

同

醫

院

領時往診の間に避ず

門科。小兒科

婦產人科科

電器萊丁

八〇丁

小野ヒサ子 善恵

でと進は、中間のまと白軒の前。格之進は、なはも相手に誘ひをひってたのか。 さすがに、逃襲になりながらもだ。フランス軍艦へののぞみ 『だが、白軒』

東京市部田原橋本町 (電話逸花四七二八 (電話逸花四七二八 (電話逸花四七二八 特 賣 中

診療受付 正午より午後三時まで

否林堂醫院

幽東科京

醫學士

アンリゴールデス

1000年

八時日曜午午中

特約店 募集 <u>şınınımınımı</u>

内 科 一品 島 隆 院 神經科 一届 島 隆 院 電話二九五八番 電話二九五八番

診療時間 至午

大時(日曜祭日午後休診)

吉野町一ノー四 電話三三四五番

口腔外科

小澤醫院

京城始村 京城始科

中土 土

松田本中政

俊勳

語ダハケ朝 六 時マデ御遠原ヲ阻マス

安利山腔科

醫院

テル裏門前

電話三二六二沓

御料理

月

神小內經兒科科

內科。

小兒科、

婦人科

口腔外科

善生堂

醫

| 本院・第三十条 | 本院・第三十条 | 本院・第三十条 | 本院・第三十条 | 本総) | 本院・第三十条 | 本院・第三十条 | 本院・第二十条 | 本の・第二十条 | 本の・第二十

入院隨意

新 茂マキノ 歌話三七一番

STAN OVERTON

日本橋詰新京ビ

往宅診

目療 ~ ~ 花小內 柳兒 病科科 町三ノー(中央公館東隣)

念感此の限りにあらず)

入院隨意

一日本橋邇郵便局前

會

席

富士町一丁目

廼

御料理

[3話三七五六番

午後二時より午後二時まで午前九時より午後二時まで

8日 | 每週月曜日祭日 村田醫 ル二階一號室 田

本 イン中毒 痔疾科 醫院

性內 小兒科 モヒ

美人揃ひの

小口齒 兒腔科 齒外 科科般 歯 程 程 京 安谷 習學士 路院院 院 安谷勇次

御

料 普 理

內西五馬路 妻

派出 派遣射 御一報大第派遣致シマスカラ 何卒即利用願マス 新京曙町二丁目二七 公認 松崎派遣婦 電監取次二二五九番 員 募 集 旅價提供 華堂時計店 鋤ち

金屬及寶石 焼り J 柳通電話二七二四番 竹食堂

店計 時 藤 佐 6 回 條二東京新

電話 二七八四番 水寄 たせ

てゐます、是非一度御出向きを願上ます お築の温い部屋で藝妓一同御待ち申上げ

100

御 理 昭然三二五九巻 1

大 陽 6

室

爲

冊

井上號昌堂獎房支店

會御料理

富士町二丁目二十六 キャピタルダンスホール前 電話二五〇七卷

定價

百五試 十十球 入入 入 入

金金金拾五多

切にお奬め申します。他の鄭で治らぬお方に

大阪市東島北新町一丁田三五

豫を防病にはの ノ注入ニョリ如何ニ强烈ナル病菌モニ ルヲ以テ其ノ効果ノ的確ナルハ茲ニ喋 ルラ以テ其ノ効果ノ的確ナルハ茲ニ喋 乃至三秒間ニ死滅致シマス 一滴ニシテ瞬時ニ奏効ス!!



は、陛下の赤子を悪氏たらしめ、貴重なる研帑を浪費する以外何物でもない、これは政府な品に一貫せる認策なく、を民間係るに奉公の念慮なきを立體するものである。地のブラジル移民を即時中止し、議洲桁板の昌めに一年上し、議洲桁板の昌めに一年上し、議洲桁板の昌めに一年上し、最高の昌めに一年上し、最高の昌めに一年上して、日本の日本のである。

る宮の同

一四日の

下院本會議

現住なしる反対演説かり、次繁質成の旨を述べ、魯非賞一案質成の旨を述べ、魯非賞一

のさして多大の別待がかけ6 れて居る。尚右低利資金の不 動産を機保さする貸付けの利

率は年五分である由

朝鮮同胞に依る

日満興隆の途恩

小笠原省三述

在の仰き意義で狀態に於いて考慮の餘地を有すれざる、現

智數

であるで述べ、代つて岸田正に入り小池四郎氏、張ウ理委員會設置の要を高唱し、之を設置せざる限り反對し、之を設置せざる限り反對に、最力な四人を設置を報告し、討論

パスレビン十四日養國用)ハーバスレビン輸入組合及び金融組合代表さしてハルビン商工會局所會領加聯明氏は、千五百萬所會領加聯明氏は、千五百萬一個の低利資金問題につき上京が重めたが、大体交渉がは非常な活製を招來すると

(ハルピン十三日 酸認明) 昨年北澤に於ける未會有の洪水 (以來ハルピン十三日 酸認明) 作 大口師祭したが、全の親察 によれば流河に鮮人の集劇的農業園を組 でよれば流河に鮮人の農業園を組 でよれば流河に鮮人小學校を である計畫で松

電話は一時二十五分開育され 一、高等職相の説明の後管 原氏は震災地方復舊追加豫算 家を提出するかき質し、高榜職相、調査完了後提出する。 業を提出するかき質し、高榜 職相、調査完了後提出する。 こ答へた、次いで日本製成株 式會社法案製成所法。案製成 来、獎勵法。改正法律案を上

新聞

1

地商 奉天實業廳で決定す 證明執照は省公署で 租契約案

「奉天十四日養國通」 ●天省 「本天十四日養國通」 ●天省 してゐないので、今回實業廳に於ては土地商租の契 や經でたの方針を決定した でに訂正の手續きをなさんご する時は、地主ご商和者の 双方より證據等類等を官感 へ提出し、鑑定官處より執 、提出し、鑑定官處より執

和 一、 商租地の土地には須く契税法を施行し官處より執照 を使行し、 商和額の百分の 九の契約税を納入せしむ、 右契税は商租者より完納せ しむる事 しむる事 の命令により發行は省公督 の命令により發行する事 が 前租者たる日本人に不正

制案。日・蠶糸會社法案を一次で製糸業法中改正法律案を次で製糸業法中改正法律案を

いで櫻井兵五郎氏法案には智成するが我鸞は委員會に於ける三同様五項の希望條項を附近するが我鸞は委員會に於ける三同様五項の希望條項を附近な6ざる樣警告して贊成するこ述べ、これで討論を終めるな6ざる樣警告して贊成十多数を以て可決さる。時に午多数を以て可決さる。時に午後四時五分。日程を變更一、農業動産 用法案 追加豫算を説明 「東京十四日餘萬圓の內容につ 新州より八年度追加豫算、總 大千四日餘萬圓の內容につ 新六千四百餘萬圓の內容につ 等詳細に説明し近く下院に得 農家負債見込額 四十五億余

「東京十四日酸酸源」 農林省 の農家 神智債見込鉱を破扱し たが其總額は四十五億四千六 で方十九萬二千四百二回に達 する

松花江下流に

鮮農の集団農作計畫

解氷期を共に具甲化

圓に達す 圓を贈る 軍當局三萬

外交問題

實業廳より

內田外相上奏

の『下を欣ばせた某の説プ臣 が、其の三日目に隧道省に轉 が、其の三日目に隧道省に轉 が、其の三日目に隧道省に轉 「奉天十四日侵納流」奉天の 智業職は農業改良に全力を助けてゐるが降雨量の觀測は水 利工事を便利にする上に基礎的要素さなり。農業さは重大 的要素さなり。農業さは重大 ので、三月九日附削 令を以つて各縣に對し降雨量 を確實に觀測し旬報を作成し れるであらうし、海外興業會なるさ思ふは誤りだ、朝鮮料 民間の独植事業を助成するの が、家族さ共に大地に親しみ 能く困難に堪へ、悠々大自然 の中に溶び入るの心境を第一 の中に溶び入るの心境を第一

私は更に駒井氏の所給を引いて朝鮮同胞の識別移民さしての重大性及優秀性を乗け、以つて本稿を終る事とする。以つて本稿を終る事とする。 は一て選(ことは次して策を付して選(ことは次して策を 得たるものでなく、今日此際 日本帝いさしても強別知さして 日本帝いさしても強別知さして 日本帝いさしても強別知さして 日本帝いさしても強別知さし

で、雅飲なんで美しいのが出来で

さんだつて門山さんや噺手さんの さんだつて門山さんや噺手さんの

拓植連動を起せ 新務省は南米移民の中止に 新の大体の関値S四分の三を

本臓に伴きし参考に資うべし 興安四分省

凱。

日

日案內

海

三 行 一同金九十銭 被照度 一回金九十銭 被照度 一回金一周五十十 行 一回金一周五十 株名 年 社 一回金十 り

京

染洗張專門

電道二六二〇番

消防線機人

口本橋泊縣前

X

中谷時計店 電話三八五四 政治工作辦事署

定 價 一 轄 金 三 競 郵 配 一 個月 金 八 十 歲 第 配 一 個月 金 八 十 歲 新京 A 期間 日 日 新 京 A 期間 日 日 新 京 A 期間 日 日 新 京 A 期 京 京 日 三 区 O 香 爱 行 人 十 河 荣 忠 男 印刷人 谷 啓二郎

「開盤十四日雙嶼運」 先役司 「開盤十四日雙嶼運」 先役司 「中員は昨日常地に達したが 真ちに連續に著手し、興安西 分省政治工作[編事公署を寓地 物を4胎した

シア政府 投資 海連業作振に

であ事まなつた であ事まなつた であ事まなつた であ事まなつた

三陸地方の

満各地に

低資千五百圓融通

多大の活況を期待

降雨量を観測



して磨らつしやいますつてね』は行くまいよ……』 いから、速くなつても聞さぬ難に

石炭

仁

電和

語洋四大

話

が、筋がはおよろしいんちゃござい筋がはおよろしいんちゃございなががおありのが まり此の無性のよ。人間壁を終めなくも かいくら壁板の優等生でも社会へ をよく指揮して、門山をして今間 をよく指揮して、門山をして今間 をよく指揮して、門山をして今間 と、安勝は我田へ水を切くの

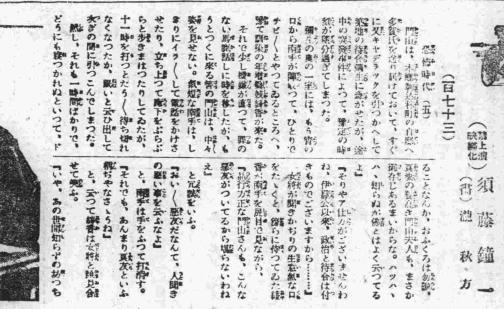
がでで、沙曳メヤ (と立気は)性 女特は武明日な 南色で 監 人だわれる それがや、わたしだつて非の一

でもないんだよ。みんな此の良方でも、真要でも、様大學のメート も押されるせの門はに仕立てた

したところでなくちや出来ません 野ばかりぢゃ立ち行かないものよ 数の御先郷をして見欠だとの供つと、南手は海蛙々々。 ですがね、練香さん、人間は軽 との特合や歌 東京。朝日新聞狀質界東京。大阪副的市公和日代 版尾新聞舖 東一條 叫品 東京}朝日新聞販賣所

は行くま

印刷が新聞いる。 金華堂へ



日本刀劍(艦定無料)日本刀劍(艦定無料) 長春室町小學校前 長春室町小學校前

はねつぎ事門 今 辨 慶 療 院

善を加へ

明白と存じます

一、石粉を全然使はぬ精米工場が愈々完成致しました製品に一層改

無砂米と混砂白米との優劣は御説明申上けるまでもなく余り

食卓を賑はす水晶米の特賣

宴會嗅短火時一食 前 食 役 粉布旅行ノ時 運動散步ノ時 運動散步ノ時

普及のため景品券附きて特賣致します台所經濟合理化の第

一歩さして是非御用命御願致します

水晶米二千以

(三月十日より向ふ)

下宿案內所 滿 日 館

合脈の御注文は

本などがある。高級民製版、入荷豊富時代の先端を建る



小口金融 新知 與 社 新知 與 社 道具一切 総は三〇八巻

過花及生花

等

五十錢景品券

(景品券は叺の中に)

百四十本

元

精米

所

圓景品券

佛具

加藤葬儀計

師範 西田方山 尺八崩

特約店 各位 の彌増す御健康を祈る

丸丸調德日今 本華田 辨 平德 洋南 商洋商 行店所店行店

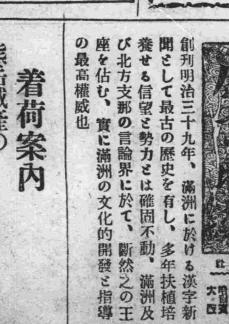
大二〇四三九 四三七三匹三 〇三三二三

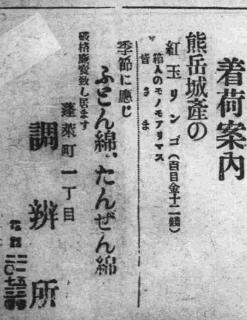
三笠町四丁目上三坂水 商商洋商商 精 店店行店店 米 (三二二二二 (三四九五九二 (四九五九二 (四九六匹六 (四九六匹六八

木世 大陸新大 印 医黄草醇 天

福洲に於ける漢字新 肚交







外交策動に入る

長瀬部隊一版死の部

蘇炳文軍は

新彊省を經て歸國

の戦闘に於ける我狼害は左の十日以後十三日迄古北口附近

三宅部隊

11111

機崩れさなつて敗走しだ数の販死傷者を戦場に造棄

十二日まで

我戦死傷者

文幹は蔣の内命を受け、北平に於て各國側さ折衝を續け、對日關係に於ては蔣策動によって此の難局を打開の道を講ぜんさする氣運濃厚さなり、外交部長羅が中の吳佩孚邸には護衛除を派し軟禁狀態にし、反動派に一歩も隣を與へないやうにしてゐる。然し積極抗日の下に入らしめるここを約し、閣錫山、李烈鈞等をして馮玉祥の出廬を促し、蔣介石ご會見すべく取計らはせ、又下に入らしめるここを約し、閣錫山、李烈鈞等をして馮玉祥の出廬を促し、蔣介石ご會見すべく取計らはせ、又下に入らしめるここを約し、閣錫山、李烈鈞等をして馮玉祥の出廬を促し、蔣介石ご會見すべく取計らはせ、又下に入らしめるここを約し、閣錫山、李烈鈞等をして馮玉祥の出廬を促し、蔣介石ご會見すべく取計らはせ、又下に入らしめるここを約し、閣錫山、李烈鈞等をして馮玉祥の出廬を促し、蔣介石ご會見すべく取計らはせ、又下に入らしめるここを約し、閣錫山、李烈鈞等をして馮玉祥の出廬を促し、蔣介石ご會見すべく取計らはせ、又下に入らしめるここを約し、閣錫山、李烈鈞等をして馮玉祥の出廬を促し、蔣介石ご會見すべく取計らはせ、又下に入らし、政武祥と明治、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「東京社」、「 (天津十四日菱國書) 蔣介石 々對內對外的に重大危機を孕んで來た 資が十四日保定で蔣介石と會見、 抑へて中日直接交渉に進み得るか。中央の手によつて掌握された北支政局の不安は容易に去らず 新局面展開に關し協議する筈である、果して なつたが。

3

軋轢具體化す 張兩者の 兩者の衝突不可避か

あるが、北支に覇を唱へんさ しないかさの空氣が漸次表面態度は次第に濃厚さなりつつ 良系勢力の對抗衝突を醸しは如く蔣介石の張學良に遂する く此の蔣の態度に必らすや學の人工学・一般の表示。 づいて朱哲元に五萬元

学良伊太利に外遊

噴飯に耐にぬ

支那一流の戰勝宣傳

我軍の長城線不出を見て

獨りよがりの大ほら

月保養する豫定である。商學 が並に秘書を同伴して先づ が並に秘書を同伴して先づ を が立に秘書を同伴して先づ は旅券出來次第外人顧問ドナ 京又は其他の地に於てより良は伊太利より帰國後は、

脫退御諮詢案

九名の委員に附託

脱退の既定方針承認

利を頻りに官傳し、日本軍をは喜峰口に於ける宋哲元の勝(天津十五日聲劇蘭)支那側

大砲十八門を取つたなき大々

日本軍を

的に報じ、遂に蔣介石区元氣

對日の方策は

矅

決して變更しない

笑止羅文幹が決意を語る

れは全部日本の責任だ、こ

京解を求めておいた

富議長より平沼副舗長を委員

哪照脫退御諮詢案は十四日倉

して脱退を帰閉十九ケ朝に通らな事質で觀られてゐる。而 告する時機については三月下

同同同同同同同同

王意書は外務省告示で公布

閣は非常時局に對する重大使

随に関する帯照路問委員會に「東京十四日菱峨地」日支間

有名無實に終る外ないものさ たの見解から右委員會は結局 たの見解から右委員會は結局

ウクライナ分離

ソ聯英獨波に抗議

一、前政府が

一、自安問題は日本の聯農脱かつたのであらうかつたのであらう

り各派の観測 首相の進退を巡

(東京十四日愛網通)帝國の

長さする九名の審査委員を指

あるが右審査委員會に於て日名してこれが審査附託の答で

粉筆問題に隣し聯盟さ意見を特に帝國政府は日支兩國間の外務省の告示を以て灸布し同句質さなるべく脱退主義書は

が廿日に開催される豫定だ

中央軍飛機廿八臺

ない。我が政府の試日方 、自分には何の事かわか 政策ださ頻りに傳へられる

めのみさは皆肯し篩く、そのて苦るも、必ずしも抗日のた

されてるる高梁、大豆、栗号 帯が熱河距軍のため掠奪・豊 され住民は困窮の健に選して あるので、湯玉鯛名儀で貯蔵

てゐるさ

会計四千数百石を逆産さして 没收し、貧民教務に充つるこ

りおは表面抗日のためき瞬し は爆撃機で優しきもの三豪あ

其數は二十八臺にして、中に 窓を連ねて北方へ向つたが。

昨十三日正午南京を出費、銀北上中なりし支那軍飛行機は

智は第七旅(古北口の東方高

湯玉麟名儀の

脫退諮詢案

局梁等逆産ミし沒收

王以哲軍大敗

四の帰盟脱退を承認する事は明 見の開陳あるべきも結局日本 別の開陳あるべきも結局日本

なきに立至つた責任問題。 本が聊盟より脱退するの日む

に努力する旨を中外に闡明すあるが今後ご雖もあくまで東あるが今後ご雖もあくまで東 **帯の平和並に世界平和の維**

日支への武器禁輸

(南京十四日發國通) 過日來

銀翼を連ね北上

線で南下隔京する筈の羅

日支直接交渉を近く

徹底抗日を叫んでゐるのは事 があり古北口路落、學良下野 人多数あり、さが振つたもの に達すさか、捕虜中には朝鮮 に達すさか、捕虜中には朝鮮 に達すさか、捕虜中には朝鮮 ろ悲悩な氣がする

(錦州十四日被制曲) 已に熟河省内各要地は投が有に歸し今や古北口。夏峰口の開鍋門の最後の占領さ共に皇軍の熱間我軍の果敢なら行動がかく間我軍の果敢なら行動がかく間我軍の果敢なら行動がかくで発言して後方にある將士の部に報告すれて後方にある將士を泣かせてるる工砲第〇〇隊司令部に報告すれて後方にある將士を泣かせてるる工砲第〇〇隊司令部に報告する大学光吉1〇1一上等兵足達

の爾目に亘り逆襲して來たが一の先遣縁たる快速隊の田村工端)を指揮して去る十、十一一条一君は下窪に於て高田部隊

の内容は

三日聯盟事務局に通達された 大いで右に関する説明書も提 出されたが、その全女は十四 出されたが、その全女は十四 にワシントンで最表された其

さ云ふルーズベルト新政府の 重大決定を表明したものである。而してお問答には、スイ る。而してお問答には、スイ を指名して諮問委員會に豫め の職に當らしむることになつ てゐるが、ウキルソン氏は票 決に當つては投票せず、且委 決に當つては投票せず、且委 といるのである。

式に開所した

るべき行動に拘束されるこ 加に同意するが、聯盟の執 加に同意するが、聯盟の執

なつてゐる

議會後の

日支問題の

諮問委員會に

米の参加者有名無實

本語中で(大郎高兵隊長)同 本部八時四十分ハルビンへ 本部八時四十分ハルビンへ 全長居吉江郎氏(民政部警務 司長)同上 「司長」同上

齋藤內閣

を遂げた

足達上等兵

古北口の

聯盟に拘束されぬ

中のいゝ米國の態度

金市長を推薦する筈である日下準備中であるが曾長には社會事業聯合會組織に関し

事往來

密雲に

に潰走す

チ、ハルの

敵損害莫大

開諮問委員會への参加招聘に「ワシントン十四日前時」聯

英大なるものあり、我軍の猛は別項の如く敵の損害は實に 傳へ6れた古北口方面の戦闘 微戦を

一十萬元は武に南京政府より して三十萬元を計上しその内 して三十萬元を計上しその内 して三十萬元を計上しその内 名譽の戦死 南京から輸送費到着 に向ひ敵を急追して三月二日砲少尉の指揮の下に長闘赤峰 赤峰に入城し赤峰市第四區の

係の中を第一線に立つて應転を金の戦闘に雷つては敵弾雨 乙不幸右腹部に貫迪銃創を負 重傷を押し

掃蕩に参加し四日更に客拉溝

た第十五師は皇軍のために後 に撃退された。十三日の戦闘 に於ける敵の死傷者は六百名 で全線の損害を台算すれは敵 の死傷者は約一千名以上の多 数に達してるる、尚洋和によ に軋機を生じてゐる

一個のでは、 「東京十四日愛園市」新任駐 田外相を訪問して、着任の検 で東京十四日愛園市」新任駐 で東京十四日愛園市」新任駐

諮問委員會には

加はるが

二日長城ハート型城壁附近に「錦州十四日菱崚通)去る十

職しては如何」 この提議あ

女給急募

A協議の結果何れるこの提れに付十四□午後各参集者

第廿五師、王以哲軍の軋轢 の機関を統平するため、中央を組織し、然して後之等多数を組織し、然して後之等多数を組織し、然して後之等多数 種々協議の結果何れるこの提 製しては聯合會組織方をそれ 労団時散育した、尚各郡市に 製しては聯合會組織方をそれ で通遠した及新京市書局で

【月二十三日通窓出發以來零 の哀悼の的きなつてるる ート型城壁戦闘で 関して勇躍先頭に立つて進み 付部以下終兵の は、 一般の は、 一般の

中を常に眞先に立つて奮戦しの掃蕩に際しては敵弾雨飛の

等兵が客年渡蒲州征以來敵匪に名譽の戦死を遂げた。同上

歸途に就く

五分穀総任の途に就いた
「錦州十四日支頭曲」闘鬼軍

式的で踏ぶ委員會か今後何式的で踏ぶ委員會か今後何である

業聯合會 全滿的にやる

敵の死傷

であるが、中央にのみかしる を指導し又は連絡に當る機関 なくしては到底これが主旨のなくしては到底これが主旨の 「民政船に於て今回備別制社の上に は城に時宜に適した結構な事を組織さらと事

を致しますから市民各位の厚き御司情を御願ひ致しますの英鑑を用し且つ遺族を慰藉する質め左配に依り用意金事論を致しますから市民各位の厚き御司情を御願ひ致します

弔慰金募集

殉職警官の

滿洲社會事

、其他の領域を發行せず、但し無京日報並新京日々、特切ご月二十五日限り ・時のご月二十五日限り

員議務

居各地商地 方工方 區委會事 民

新京日日新聞社

カフエー開業ニ付き女給數名至急入用 **心來ませんが宜敷**! 電話三四三人〇番

新しき店で

美

東三馬路五十四號

美人の王國です

電話三七三〇番 路

西三馬路

御料理

日本街

路馬三東

求貸家及間貸

電話三四人五番 新京東一條週10

子供洋服及びメリヤス賣店主急譲り度シ帝堅者は智能へ

選布告に依り、 宮質的に野 関の手を離れ、 支那も亦今 後は専ら國内収拾策に腐心すべき状勢にあるから諮問

共

告

新京王地家居紹介處 新京土地家居紹介處

市は段公告候也 ・ 大日以降左記ノ連要更仕候 ・ 大日以降左記ノ連要更仕候 ・ 大日以降左記ノ連要更仕候

カ希望キハ至の食器へ 一、世帯道具及オモテヤ店 一、事務所向家屋

を 日土地家屋紹介島 東京昭明 四丁自九 東京昭明 四丁自九

せは伊東平和の妨害者され 要するに諮問委員會は 有請負人 有請負人 解解所繼續株式會 即和八年三月十五日 開本八年三月十五日 開本八年三月十五日 開本八年三月十五日

英大使有田次官に言明 を放棄するに決定した は武器輸用禁止者は結局之 にので今後英朝政府ごして は武器輸用禁止者は結局之

質行不能で放棄 はウクライナ共和國ミツ等邦 に對し右運動の機器は外部の援助ある 共和國代表ペトロフスキー氏 ソ聯政府は弱。英、波の三國はウクライナ共和國ミツ等邦 に對し右運動の機器は善誘調 はから三國に警告的抗闘を養 する要ある旨を力能する所あった

(東京十四日 健園面) 昨日英本観政府の割合に基身本観政府の割合に基身

交換して零時三十分辭去したに耐支一般政策につき意見を

日銀週報

保調整に在り、之は聯閉の保調整に在り、之は聯閉の

まり語子を安心

E

リドヨコン

上て買くる店

新京局に非難の聲

間違つて受付けても 消印返送は當然

して午後十年なり、今朝の鳩知らして下すつたら包装し直

新京高女はれの卒

けふ春陽

に惠まる

なりで送るこごが出來たもの

送者に二重の郵送料を支拂ふべく余儀なくされた事件があつた

强く呼ばれるに至つたが、十四日郵便局小包係員自身の不行屆から發

繁忙とはいた最近新京郵便局の不行屆、不親切の聲が市民の間に漸く

印をして返すのが雪然だ」さ 新京局係員は豪語 そうあらうさちよつき電話でたるのでせっか。よし規定が なつてるるのだ」

蔵町六六番地久保田寫真製版地中村茂一氏(假名)が大連武 さいふのでこれを支拂ひ歸た、係員が受付けて送料大 所へ縦一尺三十餘嶺六十餘の 局へ特参じ んなこさは出來ぬ」 若し間違つて 既に受

釜山、奉天間列車は

一大事 に取計らは

氏。田・領事、東商業即校長、田・領事、東商業即校長して荒木昭方事務所長代讀し

祝辭をのべ送辭さして清水

のます。お役所り上: 4 Lの45

名譽ある卒業の榮冠が握り以

帯の授典を終り、總裁台群を勅語奉讀さ式順は進み卒業體

まてもひごい殆ご毎日のやり 最次の局の配達。受付じなき

の検含さ大恩深き諸先生方さの検含さ大恩深き諸先生方さ

れました、この一事に限らず

んな名稱が?

代表して木下文教は挨拶をなべる後野をのべば護者を

午業牛總代さしては即倉マ

家人に重傷負はす

朝鮮鐵道で懸賞募集

ひ破送した

ら電話ぐらるして下すつて

余りに不親切

延反にしても

中村氏憤慨して語る

調民中で其の大調州調二千萬の

好む色と文字 C

半を支配して居る以上、荷くくの如く迷信が其の生活の大

つても差支へなからう、日よが多い、凡らく其の大半さ云

鏡ぐらるのこさです

一種一葉に記載し住所氏名 (II)外単希望者は應勢名稱を 懸賞募集をなす

選考一名に限り賞金三十圓 たる場合には抽籤を貸し営

營 課宛差出すべし但應募明記の上朝鮮總督府臧道局

して再び六銭の郵送料を支拂を支拂を

「醒と一等さして選定す (三)必要なる場合には解説を

長 委員職道局各課長及文 書及旅客剛主任者

八日是報

優秀賞朝倉マサエ、木下芳へ在郷五ケ年間品行方止郷カ

サエ、ホ下芳子、馬淵文子へ進歩賞西尾伊都子

は、從來の廣告や宣傳文等に只茲に特に注意を要すること て居るもの 禮智信の如く孔孟 は有性から出まし

ちたが、最近ことしてあるく難解の漢文が使用されてしません。 1「キット」と云本意味に解す の異る場合が往々にしてある 假令同一漢字であつても意味 る場合は特に此の點を研究しが漢文を見たり作成したりす した熱字であるが、漢、蒲、 るから。 備州語を解せざる者 本に於ては親切であり大切に **解釋される漢字の意味を議**州 字でも日本に於て今使出さ 丁寧ミ云ふ文字は日

森安子。 走の客が來たり、ハブれも俳単でさ出處電方へ十四日午後堂でさ出處電方へ十四日午後

博迦に説法であるか、同じ漢

に倉田司法主任指揮の下に犯十分届出に接した。 新京署では直に署員の非常召集こうも 摂貨に努めてゐる

に努めてゐるがいづれも逮捕するにいたらず市内は新京署を始め首都醫等廳。城内各署で権力犯人搜查人に重傷を負はし逃走した人に重傷を負はし逃走した。場別の金品を強奪。家 遊興客が 强盗に早變り 六百圓を强奪逃走 優を揚げ近典登樓したが、 等し、賊は吊掌ンニュー ・開衣類敷點時價六百圓を掘 を破壊上歐打懸行を加へた末他の二名は、主人の寢室の扉 が縟靜まんを見ざいけ、右三 前三時四十分頃。家人遊興客 にご名で作いを一室に押込み名は突 条銃を取出し雇人並 一名が見出をなしてゐるうち 間を評過して復又同長神路警告が急行した馬賊は一物を得しか島行した馬賊は一物を得りから二時が進した。同時刻から二時が進した。同時刻から二時の逃走した。同時刻から二時の逃走した。同時刻から二時の過程が 神統創を貧した未金票九圓衣館配同様の四人組拳統強盗が なは同署では犯人が脱ぎ棄た 類数點を强奪逃走した の者か 犯人は遠來

拳銃强盜頻

→在學五少年間精動賞秋本百 一夜三ヶ所に出没し 新京市中の唯一の交通機関で 馬車等の合宿所集合場を除け ある洋車(人力車)六百車馬 全部の馬車洋車を宿泊せしめ 車千二百台は時、の要求さで 且つ市内各所に駐車場を設け 日 も云ふか。去る八日主なる者 て如何なる場合でも自由利用 が出來るこさになる際けであ 同組合組織法は洋車、人力車) る 產品(高樂。栗。大豆。大麻 品(羊皮、非羊皮、猖皮) 花颜"茶碗 匠

何れるモぐすね引いて萬善を解氷期を待つて内地各地より解氷期を待つて内地各地より解氷期を待つて内地各地より解氷期を待つて内地名地より解氷期を持つて内地名地名のき流域が大きない。

性品(岫巌石製の酒杯。

綿製品(車與事約廠、綿名 ○ 革新燕葉公司製 布)ひある

生ら近く來京

視察旅行團 プを切る 0

明する為準備に忙設されてあるが、早くも二十四日には炭島高等節範女科生の鮮満旅行園百一中の北嶺地方修塚旅行園百一中の北嶺地方修塚旅行園百

秋本百子、朝倉マテエ、井 卒業者氏名

本 本

馬車の

集合場も設置

同業組合組織さる

を見るここになったが、協議を見てわが對議政策も漸く實現

十年。こくに満洲底の成立を我観が頻繁經營に着手して三

新京地方事務所ではこの機會

産物の消長。一般市况の盛衰等)交通(公私交通關係 機關)施設(住宅、市街其の他系私の緒施設)等其の他より見たる沿革變遷 一、附屬地の處衰及日臟支弱 係の今昔對比觀 三、往昔の日本人の交渉

八重子、尾翮清子、松村夏後原信子、中薗とサ、關谷

△ 6 學用告勤賞秋《白戶、太田榮子、松村夏枝、水江文 于、 最尾須美子、木下芳子 小松倩子、砂塚吉江、添田 木下芳子。中國ヒザ、前川 △健康賞嗣谷八重子 菊枝、津崎ミホ、宮崎フモ

美子。中川さし子。中村千 爾谷八重子。添用菊枝。

機尾さし子、横尾浪子、横尾を子、宮崎フと、森安子、水江文子、水谷夏枝、馬淵文子、水江文子、水谷夏枝 道子、福賀シブエ、龍川な子、西山多恵、林キタ、原代子、仲谷雪子、西尾伊都

清子、佑食雅工、佐々木愛清子、佑食雅工、佐々木愛 上辰江。井山霽。岡田美代

古 野 初

備付けよ 警備電鈴を したものさ限らんこのるが右遺品から押して犯人は新京近品から押して犯人は新京近の讃揚品さしてのるが右遺

最近の續めに養生を見るこ が。各家庭において防止方の強盗事件を防止するには 倉田司法王任談

ほ各一般家庭にかいて に備付けるここと 都市では既に備付けてゐる

ない附屬地平康里では各戸 か出來。今回の事件にごも なく火災の際でも非常に便 事言云た場合、强盗のみで右世鈴を備付ければいざ天

憧れの内地へ

新京高女の たが仲々學者肌な人でした に履庇書に書いてありま らかたやう

工廠で職工をしてるたやうのな退職した人です吳海軍のなる人人月初めの大興動のな場職した人です吳海軍のなる場職した人です吳海軍

方法さしては警備電鈴の備 方法さしては警備電鈴の備

法をはじて貰ひにい。

修學旅行

さなっと 朝鮮各地の修學版 むをする事

昔話を聴く

草分け座談會

新京地方事務所で

帝 附 新京地力半務所増 所廣場小學校父兄舎へ金十圓 を寄附しこ

STREET, STREET

△和月吉野町二丁目十一大野タマ氏、十四日午前二時三十分死去

愈々開演した 京山華千代

大、町の功等者(日支歐)

八、蒲鍛の諸施設に對する批七、著しき事件の懐出

に凤くより渡繭し所謂開拍者 さしての辛酸を具に体験した 人々を集めて、その苦心ま其 の地の沿革夢澄に闢して話を を室で「草分け座談會」を開 くこさになつた、出席者は新 京在住の有力者ら約十名でわ 。 座談要項は左の調りであ

の業績)

民會共の他公共機関の消

リよた の が成功を がは がのを がは がは ながくして ながくして いの歩演は浪いの歩演は浪がも

1: 經濟(諸事業の興廢。特 九。 勝米の展望

元實業部の工務課長

朝鮮で自殺(未産)

失職を悲觀した結果

しい人気が傳へられてるるのではあり南方興行平のすばら ではあり南方興行平のすばら ではあり南方興行平のすばら 山甲止な雄門、あるの前席は袈裟御前。 粗忽、後席父師も、二日日初日の語り物は『席梶川大力 十銭引、二等は一圓半人學生 で雨夜、盛いが豫想される 等一員五十錢。前覧券は各三人場料は特等一関八十銭。一 は半額さなつてる

(平壤發) 九日午後十一時頃

を求めて講鮮各地を歩いてみ 業部工務課長東大出身の法卿 本縣鹿本郡山下町前衛洲勤智

社丹臺裏朴某力へ鮮血によみれたフロックコート着用の紳士が入り來たり。自分は怪しい者でないこいつて水を求めた上朴某に來信に自分はこの世を去るが放つておけこの電性を去るが放つておけこの電がを書いて大同署に持参して

たが、九日來壤、牡丹臺でを求めて頭鮮各地を歩いて **停剃刀で頸部五寸除を斬つ**

大手 金票 100.50 砂票 金票 22.80 22.80 24.80 24.80 24.80

六月まで

担むので保護を加へて同署にめんごした所同紳士はこれを 赴き件に紳士の手篙を行はし沼署長公醫を伴つて朴某方に 石につき實業部吉川人事課長 實業部に

玲瓏玉の如き音聲で獨自の節廻し 當る三月十五、十六の兩夜限り

我が藝壇の花 にこれ 京 日

お聞き落しなきやう り手多人數につき午後六時開演

浪

十五日午前二時頃長 世路警察

たった。

「大きな腰を埋した。

「大きな脚をして、一般が高には、一般が高には、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高に、一般が高い、一般が高い、一般が高い、一般が高い、一般が高い、一般が高い、一般が高い、一般が高い、一般が高い、一般が高い、一般が高い、一般が高い、一般が高い、一般が高い、一般が高い、一般が高い、一般が高い

●六白の人 ・神は一時なり幸福は永久さ思ひ返すべし する中で成か古 ・ 古赤の人 ・ 神は一時なり ・ 本福は永久さ思ひ返すべし する中で成か古

内で庚で変か吉

\$650

へ 青雲のむを懐き

最素の肥料自給策農家の利益を増大する

(葉上湾)

醫作 村瀧

慾;

機の馬塲は、花の油 に増す春氣分、 鶯の

漁 町龍で、 茂木原に依つて野み上のか立ち會ひ、 地間保険 内藤煎太郎の脚人

辛。亥三丑が吉

乙、庚、亥が吉

乙、申、寅が吉

町曜

展がこの報が聞いて、展別風太石衛門か を共に、駒をこらせて楽たのが、対は個 おと共に、駒をこらせて楽たのが、対は個 が手知つたる観之戦の傾向、『原で海 いてるた。 が、対は個 一杯食つたい情しさに、點を

元

から、様大郎の手前へは 新京川張州電 1三一六 本天川張州電話四〇八 一大 連 支 占 電話四 三七番 電話四 三七番

この時、歌之戦の父親四島を

門司、神戸(大阪)行 (解偶數日午前十時出明) が かる丸 三月十八日 で 米利加丸 三月二十日 が 水 三月世二日 で 港 丸 三月世二日 で 港 丸 三月世八日 で 港 丸 三月世八日 で 港 丸 三月世八日 で で 水 三月世八日

●九紫の人、意見の衝突事論 の誘きせ6るを事あり注意 のできると事もり注意 大阪商船出帆 出世の途回けて 電名

この御川豊の以前に多質様

累代改良種鷄 實利第一 實利第一 オ方=優!(利工鉄送豆) 森 音 質 号 部 神芸の多い特質品費出し 名古屋市中原矢場町三 新芸の多い特質品費出し 名古屋市中原矢場町三 新芸の金い特質品費出し 名古屋市中原矢場町三 賣相場表 處 分 品 投 賣

微退度を超えか



35

日大十月三

7 社名 店

堂然天岡師 錦本 議論

| 「一日本 | 「日本 | 「 呈遊報商



鼻風邪を引いたら すぐ質効散を服んで 感だ たら

特 办 ぜ 薬邪・風・る 信

派產出嫁

新州町(三公斤 常瀬町)では古代 大連市町町一大連市町町一大連市町町一大連市町町一大連市町町一大連市町町一大連市町町一大連市町町一大連市町町一大連市町町一大連市町町一井二月十一日削工

軍隊兵器手入材料揮發抽、酒精、染料、膠日本ペイント途料カーバイトシケラツク兵器及工業用諸油工業用品、各種ウェス陸軍諸官衙御用達 電話 園 三四五八番本店 版順乃木町三丁目 電話 園 三四五八番本店 版順乃木町三丁目 營業案內

第次話電湖ハニ者心初 沙顶 スマン致上参二導指御 Z は

實际故に信頼といったがです

填。 販 寫 新京吉野町 電話 次第速次派出致します (希護婦家政婦希望者多忙御出下さい) (姓産婦入院應需) 日滿家政婦人會 產 婆 山鶴 新京配町五ノ一四番地 子



洋 0 春

利多 三廣背 饕 下上服衿詰 總 ンボズへ代

開花前

新京祝町三1三

吉

開発 配子 (主治効能) の (主治効能) を (主治効能) か 加 答え (主治効能) が (主治効能) が (主治効能) が (主治効能) が (主治効能) が (主治効能)

= = = + + m #2 m

K-E + BBB

請負 電話ニニ人三番・エ頃ニ七六〇番 自園產味自慢 十八貫正味大樽 庭向 然の本味さなりまし!

新二大馬路三九 一圓五十錢 七圓八十錢

電科三七八六番

金州澤庵

宅 電話 | 〇八八番

澤庵 大賣出

一、正味十七貫入 正味四貫入 シマシタカラ御諒解ヲ顧ヒマスカラ取消シ 景品附ハ不公平ニナリマスカラ取消シマスソシドシ御用命ヲ願ヒマス常牧場漬り込ミノ澤庵モ本當ニ良イ以ガツキ 壹樽金七三 壹樽金七圓二十錢 マシタカラド レ丈安價ニ致 也也

袋足勒稿

助に限ると御屋では、第一節ではあると御屋では、第一節では、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは

美ないない。 とこれ 大きな 生地 佐好っ 立て 生地 好好。



日本の満洲に於ける

易統計を作成せしめつつあ

三、岩三、量

サール コ(千噺) 宅 (一月分) と 1 (一月分) と 1 (千噺) 宅 (一月分) と 1 (一月分

順登

一一些 一一些

全豆木鉄セ 主要粕材職ン 輪

元一元

义化建設を

処害すな

務総理宛左の組含祝電を寄せ ・ 大連市食精員は額是大内成 ・ 大連市食精員は額是大内成 ・ 大連市食精員は額是大内成 ・ 大連市食精員は額是大内成 ・ 大連市食精」は額是大内成

元、六

ブライス氏聯盟に海ゆ

題して「領洲蝦及展版」でした「中一日のデリー・メールはプーター・オートのデリー・メールはプーター

「北平十五日 最 回 頭 頭 団 中央軍 は第二十五師二師の外に島四 は第二十五師二師の外に島四 八十三師の二剛並びに八十三師の二剛並びに八十三師の二剛並びに八十三師の二剛並びに近州により飛行機三十機を集中し。 はまり飛行機三十機を集中し。 は上は前線に繰出するめの 戦北上は前線に繰出するめの 戦北上は前線に繰出するめでな 此

世のやり口を見て、変那の積 はないやり口を見て、変形の積 はないので、何れも全然動内的策 もので、何れも全然動内的策 もので、何れも全然動内的策 もので、何れも全然動内的策 もので、何れる全然動内的策 で、毎ら自己防衛で ある外國武官なごも蔣介石の ある外國武官なごも蔣介石の

將介石軍の北

自個地盤擴張

職橋の新設事業

太内一等兵重傷

動を命ず

「東京十五日彦崎領」外務省は八年度追加強算臨時部に終いて、三百三竜園を計上してあるが、右は昨年の上海事件及び領洲事變に際し、被害を受けた同地在留邦人、一般外人に對して、救恤資金ごしても

給與に際しては外、陸、海、大 を受員等を組織し、被救値等 をが、外務省は右委員會の投 定の法律案を今開會に提出す をの法律案を今開會に提出す

第五師は殆ご全滅に均しい大

滿洲國一

伊太利

天

吴

滿洲

貿易概况

したが、それは日本軍の関内進入を、

の観たる支那の本腰

短時間内に於てよく作戦の民衆及各位の援助の御蔭で

行に一層い努力をすべき

町中間溝渠、普通縣校、公新京公學校、入船町梅夕枝

古北口戰參戰

で言ふのが真相らしい

の程度のものであり、

市會の決議を以て祝意を

まだ决定

し
る
な

壁搜を得て斯くの如く迅速 始して以來、新聞界各位の

此の度熱河に對する作戦を

承認し、日支滿の關係調整の擧に出でん事を希望する

、國內整備に友誼的援助を與ふるの用意を有すると共に、支那政府がその非を改めるに於ては我政府は、從前の如き

從前の如き友交關係を回復

日政務院で在京記者側で曾見越軍政部總長張景惠氏は十五、地軍政部總長張景惠氏は十五、

AT窓よ高くなって余は深さなり、観察的地位は日を でなり、観察的地位は日を

中央軍の不足を納ふため 機中の第四師に對し。 育

直ちに

るのであります。

を援助すべく、列國も亦好意と援助を與へ、正式承認の速かならん事を希滿洲國に關しては飽くまで之を獨立國として承認せる所信に從ひ、之が發

により開催さるべき、

軍縮會議其他の文化的、

經濟的事業には出來得

討熱凱旋

張軍政部

總長語る

一和に協力するは論を俟たない「平和精神には變りなく、列國と共和は止むなく聯盟を脱退するが、平和精神には變りなく、列國と共享を終了した、聲明書の骨子左の如し、政府では聯盟脱退國告文の提出を同時に脱退に嗣する、帝國政府の聲明書を奏表を決定、外

斷乎我决意を表明

聞 定 價 一 概 全 三 值 图 一個月 金八十歲 图 一個月 金八十歲 原文外鄉所與了自一鄉地 股行所 教育日日新聞社 张斯亚二五届-12三〇〇番 發行人 十 河 榮 忠 郑昭人 松 本 男印刷人 谷 啓二郎

全甲白米 看話二四二番

學校學生

以府も掛聲だけ

諸長より過日の決請により編 本會議は午前十時十五分明會 本會議は午前十時十五分明會

の二条を一括調盟にし蔵相よ の二条を一括調盟にし蔵相よ

一。日本製磁株式會社法案一。製鐵業獎勵法中改正法

以南確保

打合せをなり、五季辭去した特別有当に外相を許ひ動任の時外有当に外相を許ひ動任の

柱に入り、衆語院より途附されて物を命したお旨を報告し日本年の勉減制役にゅー感謝の

濟機

蔣

持柱 **皆働せしむるここに決したさ** を促して、西南に代つて蔣を 長城萬里

廣東省內

十一日

一齊に取付

西南からの出兵見越しか

宿泊所。水源地、屎尿場分離治所。水源地、屎尿場分離及。

東司令官はその歌びを歌に寄城の境界を確保したので武職城の境界を確保したので武職場の境界を確保したので武職

長視察中西地方部

▲上海倫敦向 植 一志片云 植 一志片云 一志片云 元明公全 元明公全 ▲大連鈔票

> 四現別限 1200

八七大七叫 理 月月月月月 限限限限限 物 豆豆 一壶 好 表数

五五 五五 八京の京本 六車

五至五天四 元引

七六七四三 袋 月月月月月 限限限限

月限 戸豆粕 ◆大連特産 本大連特産 横 宣言的 至至的 系 金||金| 現物 本方 連 (100) (100) (11) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) (

七六升四三現 月月月月月初 限限限限 ▲恰解賓特產 高 槃

聯盟脫退

「如盟、満洲國、支那問題に關し の聲明要旨 する

電され特別列車で北上した。 中日特別列車で北上したさ、 市日特別列車で北上したさ、 市日特別列車で北上したさ、 市日時別列車で北上したさ、 市日時別列車で北上したさ、 市日に直り同地の各飛 日、十一日に直り同地の各飛 日、十一日に直り同地の各飛 日、十一日に直り同地の各飛

で訓練するご云ふてるるで訓練するご云ふてるる

日下各方前から敵励されてるの言ふ所に使れば、蔣介石は さ析談して長城以南を保 らこさに決定し、 する爲北上したので。快してるし又西南軍部の非難を緩和

の意を簡めて居るさいよ 長城爲里御族郷く

午後大時より官民有志を大和

中西地方部長

第一回

第三回

事情を成る消息 週ば次のやっ 事情を成る消息 週ば次のやっ を受け、 選行の行紙幣 の一圓、十圓券なごは市中で 一割乃至二割引で受授される に至り、 獲中央銀行券の五圓 十圓は流通力を失つた、右の

して暴利を得んさするからじ、一部商人が諸官を流布 6の出兵を見越してゐる8

ださ

祭した 祭した 祭した 四平街へ 「四平街文局後」管下輔鐵沿 線各地線祭中の中西埔峨地方部長は來る十六日午後一時四十五分 鏡南行の豫定なるが常地に於ける、視祭プログラムは左のける、視祭プログラムは左のける、記祭プログラムは左のは多面にでに長有志さの経験をにて官氏有志さの経験會になる。

七日午前九時四平街神社参

自闘室にて地方部所属員に動する訓解 同日午前十段等祭者。恵兵除四兆島、守備除。税捐局を加州局を 大連上海 1000 岩東京記 1

兩事變救濟豫算

一萬圓を計上

衆を元してある際、関土ではない。 がいるれば中華民族と解験の観光である際、あれば中華民族と解験の観光ではない。 と支那 第三回 第一回 ▲大連煙台向

灵

なのない。 なのである。
は、大地である。
がは、大地である。
がが映版である。
がが映版である。
がが映版ではない。
は、大地である。
がが映版ではない。
は、大地である。
がが映版ではない。
ががいる。
は、ではない。
ががいる。
は、ではない。
ががいる。
は、ではない。
がいる。
は、では、ない。 五 東鏡大 紗鐘大大 各地市場

大 気 ご 気 象 一五日の製温泉高等・零度。 一五日の製温泉高等・零度。

環治療院

五入一漫自櫻 香 金牌拜受の人氣の店 h カステ 高 5

輸入組合加盟店 第二年 第二年





輸入組合で

東北震災義捐金

時頃後蘭が舜見し大騒さなり時頃かねて用意のカルモチン

熱河各地に

救濟凾を設置

満洲國の衛生工作

若い内地人青年があつた……若い内地人青年があつたが、 黄金橋での繁望をなけれて、黄金橋での繁望をなけれて、黄金橋での繁望をなけれていた。

名譽。地位、黄金、もい6 ない。たで死を遊びあの天 観にいそぎたい。だだ死に 製にいそぎたい。だだ死に

ては真事よるしく粗むさあって然しい、金銭についるあった、残る見は元気した気に行く考へ

さになつてゐる。一方また同しては三名づく配置されるこ

第二(日三月十一日午前九

等豊富に準備して御座

、農家經濟調查中改正之

薄利多賣主義

土地利用状况調査の件

全國警察巡官以上の政績

務司では日本留學生さして

一優秀一 選抜しいい

功を收めて第一日を終つた四十五分、水上機は午前十一時期破し、陸上機は午前十一時期では一時間では一時間では一時間では一日のでは、一日のでは、一日のでは、一日のでは、一日のでは、一日のでは、一日のでは、

| 「日料亭大観樓に登樓し、枝|| (假名)|| は十四日、祝町四|| (假名)|| は十四日、祝町四|| (田五)

事變海軍戰傷者に

海軍で社會施設

こして働くこことなつてゐるなつたが、一行は内務等警官教養を受け議洲國の模範警官教養を受け議洲國の模範警官

卢

梅ヶ枝町四丁目十二

古

古力

洋

れにはカルモテンを便用

宮崎縣生れ市門中央涌富士屋

おに就き新京署では畜犬者一般に対してこの際畜犬は繋留するやう嚴重した。なほ一般ではい際一刻も早く居

春まだ淺き日

るこさになつた専門學校出のから中央警察學校内で開催さ

平康里に登樓カルモチン

服用

別の實情を知らしめ且つ模範別間は約一ヶ月。 その間に最

人の期待をかけてるるが誘導 しの試みであり、常島でもを 指導員養成は今回が全く始め

元興安總署勤務員

八青年厭世自殺(未遂)

が、本年にしつこと
おは非常な努力を拂つてゐる

た。また錦町四丁日三十六番地の四名に咬みつき、取調の結

息の二十五分の三」きある

で死刑

冬【貸付利息中日步金[].厘」

ロジョア階級に蜀ぜら富者卅ワよりの報道によれば、元プ

五名は、反革命サポタージュの罪名の下に去る十一日死刑

格あるるの二十五名を人選

舊軍閥の搾り

(良產物生產調查)

年度権行せんごする

材作狀况季報及縣農况

卒業生にして幹部候補生の資 事省の仲額で専門原校以上の 指導員養成のためへ さまに陸

『洲域民政耶警務司では等な

尚今回の春耕資金は中央政府

狂犬ご判明し十五日撲殺した 病前配主人に咬みつきこれ又 軍艦堀籐錐方畜犬は十四日發

毎年春先になる言現はれる恐

狂犬恐怖時代

「東京十四日 会談通」東京憲氏から、島徳蔵は何等の罪を を大塚、田中の兩名に局限 したが、本日代籍士清瀬一郎 にから、島徳蔵は何等の罪を 構成せぬこ傳へられるが、余

外に進展を見るべくその成行を構成するご認めるごの長女の手紙を府特高課長の手許へたのだが、右の結果事件は意

模範警官養成

きは注目されてゐ

滿

伽國で最初の試み

専門學校出の指導員養成と

設致しました、何卒御立寄りの

の指導の下に御婦人用衣裝部を開

此の度エム、エス、オリメルト嬢

日本橋通り三〇番地

ペトロフ一所會内

日本に留學生派遣

被害者七名に達す

いづれも直ちに撲殺

卅五名の富豪

反革命サボタージュ

(=)

大に取っては頭洲身展、商人 上、現在の消費組合か上層階 れ具体化される模様である にいが、今度扇壁が満洲戯内 体化される模様である。 諸磯道委任經營によつて消 現存の消費組合については従いさいふので、従來の運動方をおび、今度扇壁が満洲戯内 体化される模様である。一方 は銀合の手が更にこれら 一次の書き郷職からいつて到底 針を變更してこれが實現をは からうごいふ意響が漸次有力 からうごいふ意響が漸次有力 ないので、それは偏重研究の 化してゐるので、これもいづ からうごいふ意響が漸次有力 からうごいふ意響が漸次有力 ないので、それは偏重研究の 化してゐるので、これもいづ からうごいふ意響が漸次有力 ないので、それは偏重研究の 化してゐるので、これもいづ い地に於ける百貨店問題ご同 の進出上に大きて影響あるも 級にのみ役にち、下級社員に からうごいふ意響が漸次有力 ないので、それは偏重研究の 化してゐるので、これもいづ い地に於ける百貨店問題ご同 の進出上に大きて影響あるも 級にのみ役にち、下級社員に からうごいふ意響が漸次有力 ないので、それは偏重研究の 化してゐるので、これもいづ い地に於ける百貨店問題ご同 の進出上に大きて影響あるも 級にのみ役にち、下級社員に からりごいる模様である にかける はいまない はいまない はいまない はいこれる模様である にない はいまない はいま **電組合の手が更にこれら** 諸鐡消委任經營によつて消 存在は最も大きな打撃に相違 して、いやそり以上に在講術 といいでは議一消費組せの

各地商人とも頭痛

さきに官制の公布を見た哈爾 毒瓦斯繼賣事件 に擧行 きのふ盛大 意外の方面に飛火か

廳開廳式 **推薦** 新京地方事務所是荒木章氏 哈爾賓警察 民政部總長代理藻線次長。長民政部總長、市政関係者その他、來賓さし一般有力者ら百五十名臨階し一般有力者ら百五十名臨階し一般有力者ら百五十名臨階し一般有力者ら百五十名臨階し一般有力者ら百五十名臨階し一般有力者ら百五十名臨階し一般所があり、終つて祝宴を明本にある。

、郭家店大野重商店自己

同四時年極めて盛况裡し散

豆を混入する者敵増し、甚」大豆中に腐敗變質してゐるな 果次の各店が不正の廃で十九歳をを行つてるたが、その結合を行つてるたが、その結 日よりそれぐ議職線の使

· 丘日至三月二十四日四界家店縣山商店自三月

輝く日本の兵できん 不正行 混保 禁ぜら

用五緒に者し大保

拾供養

五日至二月二十九日體紛、郭家店囑聚衡自三月十

昭和七年度聯合自於大

までに顧書を提出されたいき集を開始人所希望者は本月末側線界では本年度青訓牛の募

遺骨南下

五日至三月二十四日四平二、鄭家店恰和興自三月十新京間 月十五日至四月三日鐵街

人豆の取扱を

青訓出願は **本月末まで**

ため十五日本社来訪 大連から所京署に轉任した高

新京署岸氏着任

むましたら早遊お見積りにお何ひ数ます

元尚店

んそば

ぜんざいぞうに 町笠三京新

唸を生じて大評判

不况を外に大發展

鰻かば焼トざんぶり 三笠町二丁目 靑

電話二九四二番

三笠 町二丁 ----目

曾我廼

電話二五八八番

スマ居テシ待御 鍋物類

アタコ 力

电話二四六八番

花も實もある 美人揃ひのウェータ連のサ ホガラカなホ ピス振りを御覧とさい

战酢殺强窃

初訓練 「土浦十四日發。通)海電航 「土浦十四日發。通)海電航 「土浦十四日發。通)海電航 中前七時半陸上練習の二十二 名は一アル式艦上債祭侵八機 に水上練習の十八名は一駅式 水上債祭侵一機に分乗して買夕浦 を出身。東女征空の肚差にの を出身。東女征空の肚差にの を出身。東女征空の肚差にの

邦人質屋に强盗

四字街支品数) 低和、二十一日の青訓座談 曾は関東軍司令部石川参兵少佐並に開東軍司令部石川参兵少佐並に開戦等 おり 薄鏡俱樂部日本間に於てより 薄鏡俱樂部日本間に於てより 薄鏡 保楽部日本間に於て

海軍航空隊

和合員より義捐金を募集するの件(一口五十銭)

米國でも遂に

麥酒が吞めるか

して職業保護正業就職の社會 を派遣して各戸別に生活の實 を派遣して各戸別に生活の實 を派遣して各戸別に生活の實

映畵青訓のタ

賭しても事業の成るここを決めな功に至れる評緯を説明、中

され、省長より一千萬圓融資

を開ソ

ログラム及出席者

請は十四日午母三時より第會 (ラチヘル十五日最誠は)春 村舎の登付し関する最終的會

新京署の

特に勉强如何様にも

地强第一

二月中犯罪統計

麥酒法案下院を通過

東北地方大震災に附し全

新京輸入組合では役員會議の

地形息手當

「東京十四日酸減量)今次の事要で上海方面並に松花江方面の海軍戦死者は百七十五名戦後者五百名、不具腱疾の監験に者五百名、不具腱疾の監めにか、右につき海軍省ではこれ等の機性者教護の監めによったが、右につき海軍省ではこれ等の機性者教護の監め

黑龍江の

総科に属する調査の打機等項

集者の福案事項

嬉野へ御用命の程を

春耕資金

少年航空兵の

(三月十日午前九時

料理は江戸前

あり乗しを決心